

平成 29 年度 第 1 回理事会 議事録

1. 日 時 : 平成 29 年 4 月 23 日(日) 13:00~15:00
2. 場 所 : 弘前大学医学部付属病院 2F 検査部技師室
弘前市本町 53 Tel.0172-33-5111
3. 出席者 : 小島 佳也、石山 雅大、齋藤 浩治、三上 英子、藤田 絵理子、三上 昭夫、
三上 ルリ子、柴田 絵里子、野坂 知加、木津 綾乃、野坂 嘉友、田代 博美、
津田 昭子、濱谷 修、吉岡 治彦、宇野 善成、成田 好孝
欠席者 : 櫛引 美穂子、太田 孝雄

定款第 5 章第 32 条及び諸規定により、議長に小島会長があたり、書記に柴田、野坂理事が指名され、審議が行われた。

【報告事項】

1) 事業内容・会計監査報告

宇野 善監事より平成 29 年 4 月 23 日(日)に平成 28 年度の監査を実施したところ、「会務および会計が適切に行われていることを認める」との報告があった。

2) 第 6 回理事会議事録報告

資料として配布された『第 6 回理事会議事録』に従って小島会長より報告があり、議事録内容の了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承した。

3) 学術部経過報告

石山学術部長より以下のとおり報告があった。

- ・各部門、各支部ともに滞りなく研修会が終了した。
- ・平成 28 年度青臨技精度管理調査は各部門長、精度管理委員の協力で無事終了した。
6 月 3 日(土)に精度管理指導講習会が行われる。

4) 公益部経過報告

齋藤公益部長より以下のとおり報告があった。

- ・高校生心電図検診が始まった。尾上高校から青森南高校へ心電計を移動する際に、タクシー会社の配車ミスにより 1 時間ほど心電計の到着が遅れ、その間心電計 2 台で行うべきところを 1 台で行うことになり高校側に迷惑をかけるという事態が発生した。
他にも各支部で不都合なことや意見があれば連絡してほしい。

5) 渉外部経過報告

三上渉外部長より特になしと報告があった。

6) 事務局経過報告

藤田事務局長より配布資料に基づいて以下のとおり報告があった。

- ・青臨技関連経過報告
- ・北日本支部関連経過報告
- ・日臨技関連経過報告
- ・関連団体経過報告

7) その他

藤田事務局長より配布資料に基づいて以下のとおり報告があった。

- ・第44回青森県医学検査学会の一般演題の順番について不都合がなければ予定通り行う。座長は4月中に決定予定である。

石山学術部長より次のように補足があった。

- ・演題数が少ない部門はまとめて座長は1人とし、演題数が多い部門は座長2人とする。
- 三上会計より配布資料に基づき平成28年度青森県臨床検査技師会の収支について報告があった。

小島会長より以下のように補足があった。

- ・各都道府県技師会の会費は10000円から5000円まで県によって異なるが、現在青臨技の会費は8000円と全国的にみると高い方である。また、日臨技でe-ラーニング(月額750円)が始まることとなり、医療人としてのスキルアップや生涯教育のツールとして活用していくことになるので、今後負担が増えることが考えられる。そのため、会費については今後議論が必要と思われる。

【議題】

1) 平成29年度定時総会について

藤田事務局長より配布資料に基づいて6月3、4(土、日)のタイムスケジュール及び役員の担当業務について説明があった。

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

2) 第44回青森県医学検査学会について

配布資料に基づき野坂学会長より進捗状況について説明があった。

- ・情報交換会の進行
- ・送迎バスの時間(会場発) 6/3(土) 21:00、23:00 6/4(日) 16:30
- ・ランチョンセミナーの準備

- ・会場設営

吉岡理事より学会参加の学生および引率者に関して質問があり、以下の意見が出された。

- ・学会参加の学生、引率者については参加費無料とし、学校名を記載したネームプレート配布する。

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

3) 高校生ガイダンスについて

小島会長より以下のように説明があった。

- ・7月15日(土)に行うことが決定している。
- ・昨年度は保健学科の見学と検査部での実習を行ったが、今年度は病院メインで行い、病理、輸血部も含め全分野での実施を考えている。
- ・昨年度の参加は75名であったが、今年度もそれ以上の参加が見込まれる。
- ・石山学術部長、齋藤公益部長、三上渉外部長がメインとなってガイダンスを取り仕切り、その他のメンバーについては今後決定する。
- ・養成校紹介の時間配分、方法などの詳細については今後検討する。

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

4) その他

小島会長より以下のとおり説明があった。

- ・北東北がん医療コンソーシアムへの参加依頼があり、参加する意向である。
- ・第4回「地域ニューリーダー育成講習会」へ参加する技師の人選について。
- ・「初級・職能開発講習会」開催。
- ・「医療現場における職能向上のための検査技師育成講習会」開催。
平成29年度は、各都道府県技師会より代表者1名を選出し日臨技で開催する。
- ・全国「検査と健康展」については、青臨技主催では行わず、弘前市、八戸市、黒石市で行っている健康まつり等を登録して開催する。
- ・支部学会関連の学生フォーラム、中高校生向け進学支援事業の開催。
青臨技の開催は来年度になるため、今年度の秋田での開催を参考に行う予定である。
- ・日臨技精度管理結果サポート事業助成
日臨技サーベイにおいて「C・D」評価施設へのサポートを行う。詳細は未定。
- ・生涯教育推進研修会助成、総会委任状回収委託に関しては例年通り行う。
- ・今年度の精度管理結果は、施設別報告書を作成して頂きたいと考えているが、担当者の負担が増えることが予想されるため、JAMTQCの使用を検討していきたい。
- ・来年度の北日本支部医学検査学会が青森市で開催されるにあたり、今年秋田市で開催される学会に視察団(最低10人)として参加する。

- ・平成 30 年度北日本支部医学検査学会のスローガンとポスターを公募する。

懸賞金：スローガン(1 万円)、ポスター(2 万円)

応募時期：スローガンは 6 月中の予定。スローガン決定後にポスターを公募する。

応募者条件：青臨技会員

選考者：青臨技理事、学術委員

石山学術部長より以下のとおり報告があった。

- ・青森市民病院の本田技師が、輸血時に血液型を 2 回検査することを啓蒙するポスターとプレゼン用のスライドを作成した。後日ホームページに掲載する予定である。

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

議長は以上をもって審議を終了したことを告げた。

会 長 印

監 事 印

印